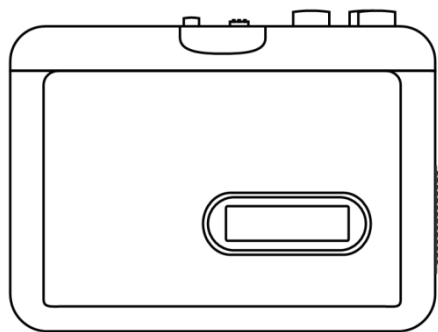
商品名：カセットキャプチャーレコーダー
型　番：EB-XS400

取扱説明書　保証書添付

この度は本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

●本機の性能を十分に発揮させると共に、長期間支障なくお使い頂くために、ご使用前にお読みください。お読みになった後は、保証書付ですので大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
保証書に、「お買い上げ日、販売店名」などの記入があるかを必ずお確かめください。

※本書で使用しているイラストは実物と多少異なる場合がございます。

もくじ

■はじめに

■録音する

■製品仕様

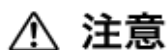
■保証書・サポート

■安全上のご注意　【必ずお読みください】

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとはいつでも見られる所に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取扱い方を絵表示しています。内容をよく理解頂きまして本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して間違った使い方をすると、死亡や大けがを負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠ 注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

禁止の行為であることを告げるものです。

行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

はじめに

⚠ 警告

ご使用になるとき

■修理・改造・分解はしないこと。
火災・感電の原因となります。
修理・点検はサポートセンターにご依頼ください。

■内部に異物を入れないこと。
クリップ・ヘアピンなどの金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合火災・感電の原因になります。
特にお子様のいらっしゃるご家庭では、ご注意ください。

■乗り物の運転中はイヤホンのご使用は控えてください。周囲の音が聞こえにくくなり、交通事故の原因になります。歩行中でも周囲の交通状況に十分注意してください。

■長時間使用しないときは、本体から乾電池を取り出すこと。
発熱・液漏れ・破裂の原因になります。

安全上のご注意

ご使用になるとき

■イヤホンをご使用になるときは音量を上げすぎないこと。
耳を刺激するような大きな音量で聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■温度が異常に高くなるところに置かないこと。
機器や部品が劣化するほか、火災の原因になります。夏、閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、又はストーブの近くでは特にご注意ください。

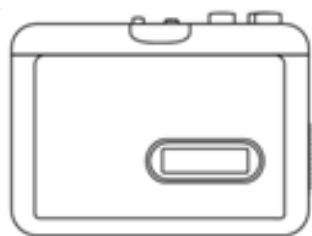
■種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないこと。
発熱・液漏れ・破裂などによる、やけど・けがの原因になります。

■カセット挿入口に手を入れないこと。
けがの原因になります。
特にお子様のいらっしゃるご家庭ではご注意ください。

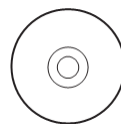
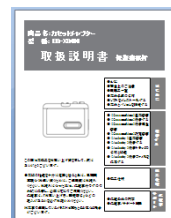
■指定以外の電池は使用しないこと。
発熱・液漏れ・破裂などによる、やけど・けがの原因になります。

■乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は入れないこと。
発熱・液漏れ・破裂などによる、やけど・けがの原因になります。

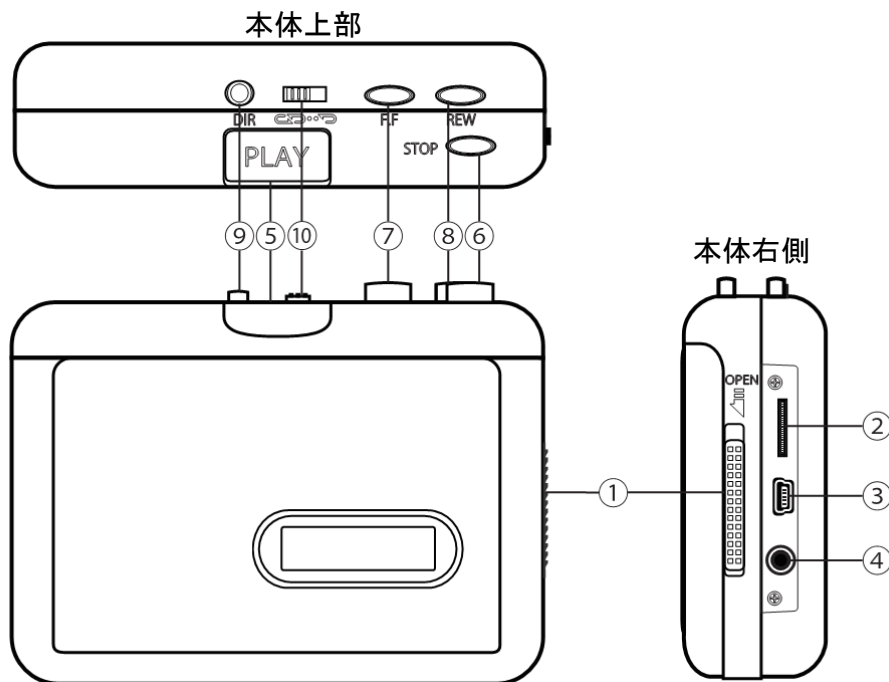
同梱品一覧

以下の内容物が全て揃っていることをご確認ください。
※　イラストは実物と異なる場合があります。

本体

USBコード

イヤホン

CD-ROM

取扱説明書
（本書）

本体各部の名称

・本製品はカセットテープ音源をパソコンへ取り込みデジタル音源に変換します。
・イヤホンを接続してカセットプレーヤーとしてもご使用できます。
・本製品は再生専用機でカセットテープへの録音機能はありません。

※本体左側に電源端子（DC3V　500mA）がありますが、ACアダプターは付属されていません。

①開閉スイッチ

②音量調整つまみ

音量がゼロで録音する場合は音がありません。

③USB端子

④イヤホン端子

⑤再生ボタン

⑥停止ボタン

⑦早送りボタン

⑧早戻しボタン

⑨A面B面切替ボタン

カセットテープを入れ替えずにA面とB面の操作を切り換えます。

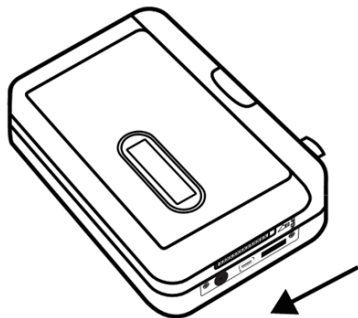
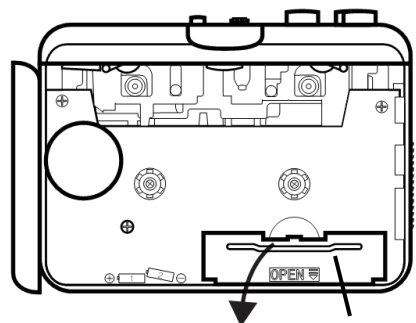
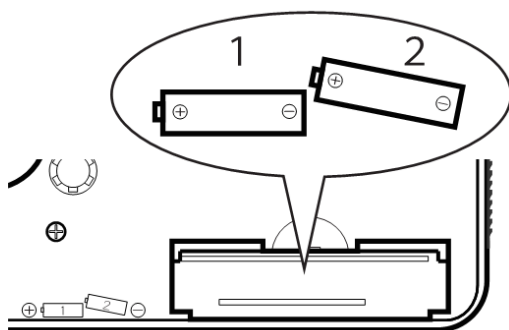
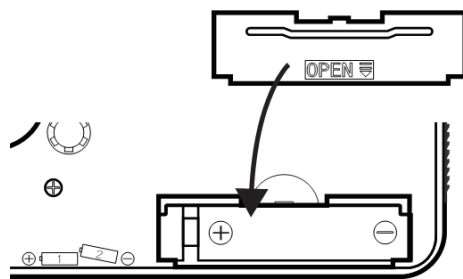
⑩プレイモードスイッチ

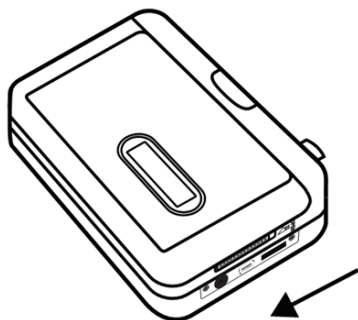
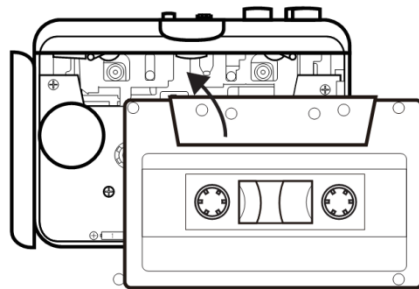
A面B面をループします。

A面B面を再生して停止します。

はじめに

使用の準備

■本体に乾電池をセットする

1、開閉スイッチを矢印の方向へ
スライドして、フタを開けます。

2、本体中の電池フタを手前に外します。

3、図のように単3乾電池（別売り）の
「+・−」を正しくセットします。

4、電池フタを閉めます。

■本体にカセットテープをセットする

1、開閉スイッチを矢印の方向へ
スライドしてフタを開けます。

2、再生面を上にして、本体にカセット
テープを入れて、フタを閉じます。

ソフトをインストールする・本体とパソコンを接続する

■ソフトをインストールする

1、パソコンに付属のCD－ROMを読み込みます。

2、自動再生もしくはコンピュータ内のCD-ROMデバイスを選択します。

3、パソコンのOSがWindowsの場合は「For Windows」を選択してください。
Macの場合は「For Mac」を選択してください。

4、【CasstteMate】（ cassettemate.exe ）または【Audacity】（ audacity-win-2.0. Audacity Setup Audacity Team ）をダブルクリックしてインストールを実行します。

5、画面に従い進めていきます。「Finish」と表示され、インストールが完了します。

はじめに

※CD-ROMをご利用いただけないパソコンの場合は、下記ホームページより「For Windows」または「For Mac」の【Audacity】ソフトをダウンロードしてインストールしてください。

http://audacity.sourceforge.net/download.

録音操作方法について

【CasstteMate】 操作方法はP7～P10を参照してください。

【Audacity】操作方法はP11～P15を参照してください。

■本体とパソコンを接続する

1、本体とパソコンをUSBコードで接続します。

2、カセットテープを本体へセットします。
パソコンと接続している間はパソコンから電源が供給されます。

※使用中にパソコンがスリープ等の状態になり、USBからの給電が停止すると、ご利用はできません。

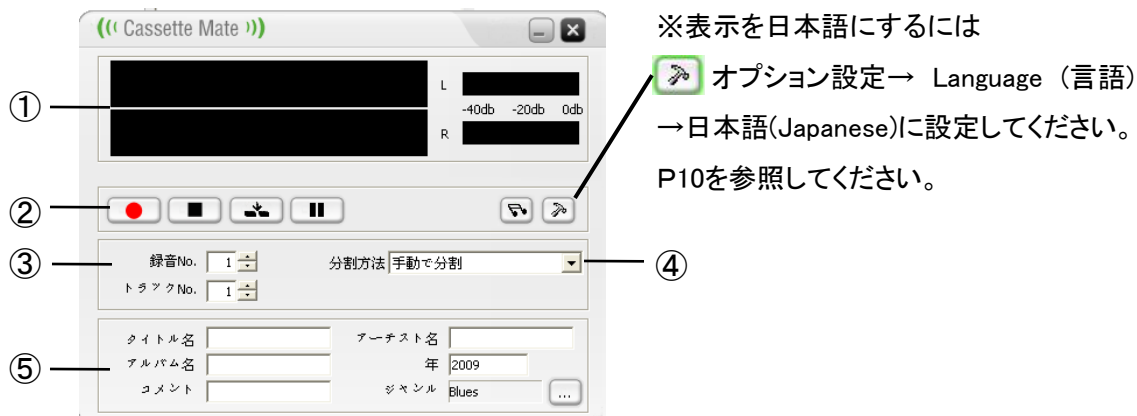
【CassetteMate】基本画面

デスクトップに表示されている CassetteMate のアイコンをダブルクリックすると下記画面が表示されます。

スタート→全てのプログラム→【CassetteMate】→【CassetteMate】をクリックでも起動ができます。

※表示を日本語にするには

オプション設定→ Language（言語）→日本語(Japanese)に設定してください。

P10を参照してください。

①再生レベル：カセットの再生を検知すると波状に表示されます。

②操作ボタン

	録音ボタン：録音を開始します。
	停止ボタン：録音を停止ます。
	分割ボタン：手動で録音を分割する時に使用します。
	一時停止ボタン：録音を一時停止します。
	録音再生ボタン：録音したファイルを再生、保存、削除できます。
	オプション設定：各種設定を行います。

③録音No./トラックNo.：現在の録音番号とトラック番号を入力します。

④分割方法

手動で分割：分割ボタンをクリックした時点で録音ファイルを保存し、自動で新たに録音を始めます。

指定した時間で分割：予め設定した時間が経つと録音が自動で分割されます。

無音区別で分割：無音を検知すると自動で録音ファイルを保存します。設定した無音区間時間が経つと自動で新たに録音を始めます。

⑤録音ファイル情報

録音ファイル情報を入力すると、録音されたファイルにMP3　TAG情報が入力されます。

入力された情報は、本ソフトで確認できません。別途MP3再生ソフトでご確認ください。

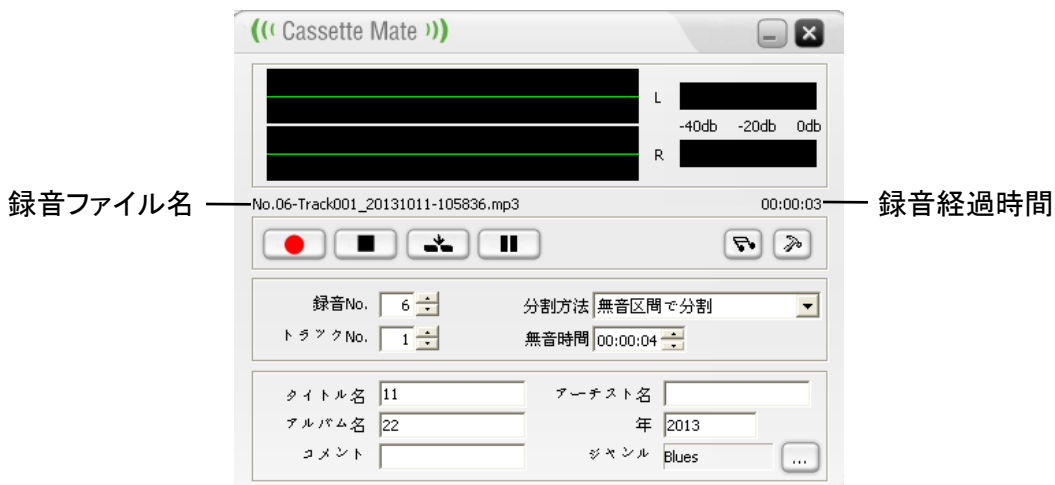
（※情報の登録は録音停止までに設定してください。）

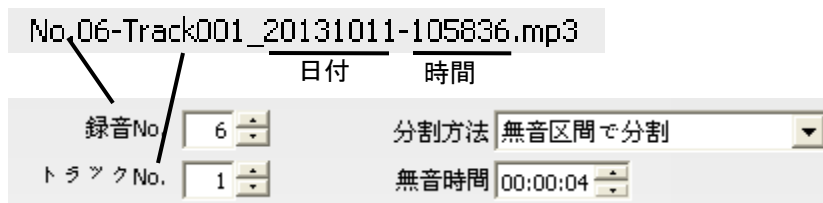
【CassetteMate】録音する

1、パソコン上の【CassetteMate】を起動して、【CassetteMate】画面の録音ボタンを
　クリックすると、録音が開始されます。

2、本体のPLAYボタンを押してテープを再生します。

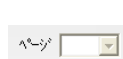
3、【CassetteMate】画面の停止ボタンをクリックすると、録音が停止されます。

4、本体の停止ボタンを押してテープ再生を停止します。

録音中画面

録音すると下記のように自動的に録音ファイル名が付けられ、録音ファイルが【CassetteMate　Record Files】というフォルダーに保存されます。

「録音No.」・「トラックNo.」を変更すると、次の録音ファイル名が変更されます。
トラックNo.は、「指定した時間で分割」・「無音区間で分割」で、自動的に値が増えていきます。

※録音中の音声は本体にイヤホンを接続してお聞きください。音量がゼロで録音する
　場合は音がありません。

●再生レベルが波形にならない

　音声の音量が小さいと再生レベルが波形にならないことがあります。
　オプション設定内の【録音音量」と本体の音量を調整してください。

【CassetteMate】録音再生画面

【CassetteMate】画面の ボタンをクリックすると、下記の画面が表示されます。

録音再生画面

①録音ファイルリスト：録音したファイルが表示されます。

②操作ボタン

音量	音量ボタン：再生音量を調整します。
	再生ボタン：録音ファイルを再生します。
	停止ボタン：録音ファイルを停止します。
	前曲ボタン：1つ前の録音ファイルへ移動します。
	次曲ボタン：1つ先の録音ファイルへ移動します。
x1	再生スピード：再生時のスピードを変更します。
ページ	ページ指定：表示ページが複数ある場合ページを指定して移動できます。
<< >>	前/次のページへ移動します。
	削除ボタン：選択した録音ファイルを削除します。（※削除は1件ずつで行われます。）録音再生画面上で録音ファイルを削除すると、【CassetteMate　Record Files】フォルダー内の録音ファイルも削除されますのでご注意ください。
	別名で保存：録音ファイルを指定場所へ保存します。

【CassetteMate】設定画面

【CassetteMate】画面の をクリックすると、下記の設定画面が表示されます。

録音する

①Windows起動時に自動スタート:

チェックを入れると、パソコン起動時に本ソフトが自動的に起動します。

②言語:言語の設定をします。

③録音ファイル形式:録音ファイルの形式を選択します。

④kbps:キロビット/秒を選択できます。

※数字が大きくなるほど音質が上がり、容量が大きくなります。

⑤保存先フォルダ:フォルダの保存先を指定します。

⑥無音レベル:録音ファイルの「無音区間で分割」時に無音と判断される音量レベルを設定します。

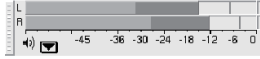
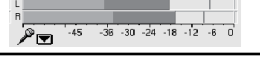
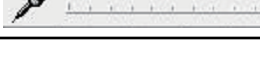
⑦録音バランス:左(L)右(R)の録音バランスを調整します。

⑧無音録音:チェックを入れると音無しでの録音となります。

【Audacity】基本画面

※録音中の音声は本体にイヤホンを接続してお聞きください。音量がゼロで録音する
　場合は音がありません。

■【Audacity 】を起動する

デスクトップに表示されている のアイコンをダブルクリックすると下画面が表示されます。

【Audacity 】基本画面

操作ボタン

	一時停止ボタン
	再生ボタン
	停止ボタン
	録音の始めまで戻ります。※再生中はできません。
	録音の終わりまで移動します。※再生中はできません。
	録音ボタン

【Audacity】基本画面

コントロールツール

	選択ツール。再生、編集する範囲を選択します。
	エンベロープツール。時間毎の音量を調整します。
	ドローツール。録音の部分を修正します。
	拡大ツール。拡大縮小します。
	タイムシフトツール。録音を左右へスライドさせます。
	マルチツール。キーボード操作を可能にします。
L R -45 -36 -30 -24 -18 -12 -6 0	再生レベルを表示します。（出力モニター）
L R -45 -36 -30 -24 -18 -12 -6 0	録音レベルを表示します。（入力モニター）
	再生音量を調整します。
	録音時の音量を調整します。

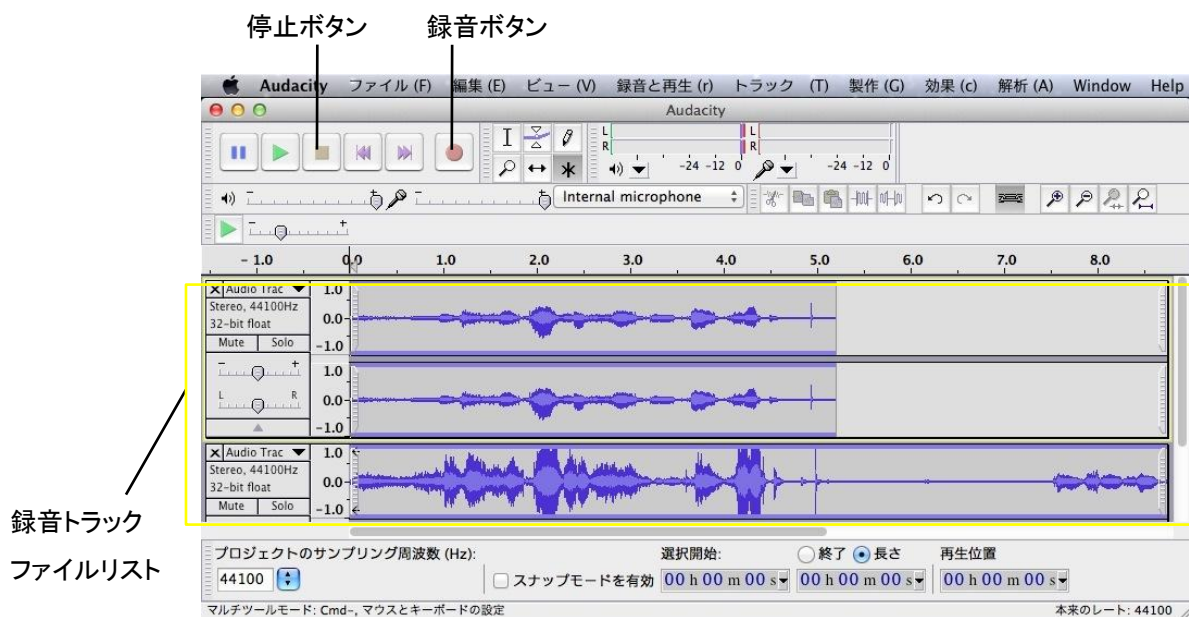
編集ツール

	切り取り
	コピー
	貼り付け
	選択範囲以外が無音になります。
	選択範囲が無音になります。
	取り消し
	やり直し
	拡大
	縮小
	選択範囲をウィンドウに合わせます。
	録音全体をウィンドウに合わせます。

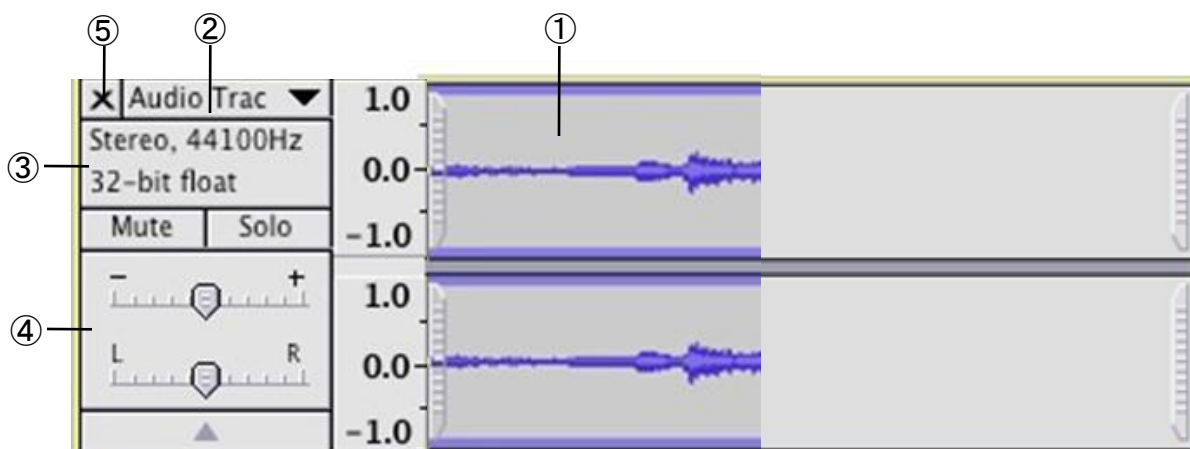
【Audacity】録音する

※Macをご使用の場合は、先にサウンド入力する装置を【USB】に設定する必要です。
【内蔵マイク】に設定すると、内蔵マイクにより録音されていますのでご注意ください。
設定方法：【システム環境設定】→サウンド→サウンドを入力する装置を【USB】に
設定してください。

1、パソコン上の【Audacity】を起動して、【 Audacity 】画面の録音ボタンをクリック
　すると、録音が開始されます。
2、本体のPLAYボタンを押してテープを再生します。
3、【 Audacity】画面の停止ボタンをクリックすると、録音が停止されます。

録音する

録音画面

4、再度録音ボタンをクリックすると、前回の録音トラックファイルの後に続いて記録されます。
　※停止ボタンをクリックするごとに、一つの録音トラックファイルとして作成されています。
5、録音終了するには【 Audacity】画面の停止ボタンをクリックするか、本体の停止ボタンを
　押してテープ再生を停止します。

【Audacity】録音トラックの名称と機能

①録音波形

録音の音量、音質を波形で表示します。

②オーディオ Audio Track ▼

トラックの名前・変波形状の変更、音声の変更ができます。

③音声調整

Mute(ミュート):選択トラックを消音にします。

Solo(ソロ):録音トラックが複数ある場合、ソロを押したトラックのみが再生されます。

④調整バー

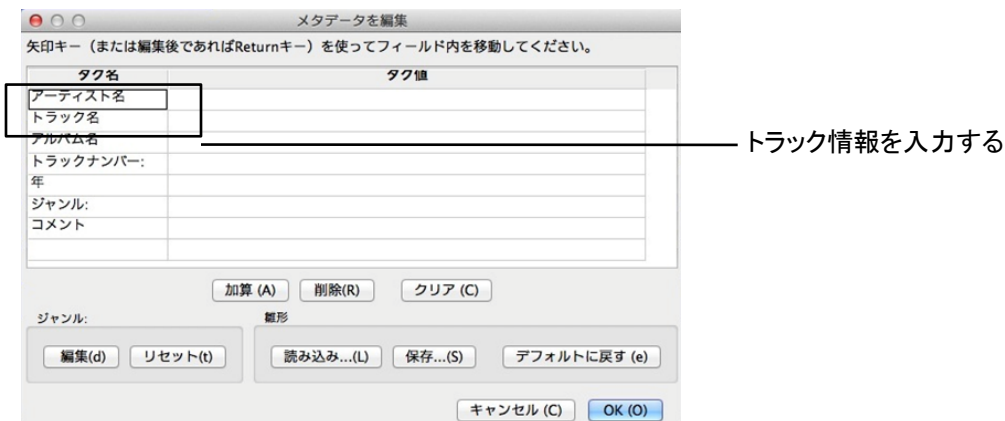
音量調整:音量を調整します。

音量バランス:左右のバランスを調整します。

⑤削除:録音トラックが削除されます。

【Audacity】録音ファイルを保存する

録音ファイルを保存するには【ファイル】→【書き出し】にて保存してください。

①【書き出し】をクリックすると、下記画面が表示されます。

※使用するパソコンにより、保存方法と表示画面が多少異なります。

②必要なトラック情報を入力して、【OK】をクリックすると、下記の画面が表示されます。

※使用するパソコンにより、保存方法と表示画面が多少異なります。

③ファイル名を入力し、保存場所を選択し、フォーマットを選択し、【Save】をクリックすると、保存されます。

※保存する際、録音画面に複数のトラックがある場合は、合成されて1つの録音ファイルとなります。合成しない場合は1度ずつ録音・保存をするか、必要のないトラックを削除して保存してください。

製品仕様

型番	EB-XS400
商品名	カセットキャプチャーレコーダー
電源	アルカリ単3電池×2本（付属しません。別途ご用意ください。）
対応OS	Windows XP 、Vista、7 Mac OS 9、Mac OS X(バージョン10.6まで)
本体サイズ	約113（W）×30（D）×90（H)mm
製品重量	約174g
材質	ABS、PVC
推奨動作温度	約5～45度
イヤホン出力	0.15W
オーディオ変換 フォーマット	wav、mp3、wma
インターフェイス	USB2.0
付属品	取扱説明書、イヤホン、CD-ROM、USBコード

※仕様は製品の改善・品質向上のため予告無く変更される場合があります。

※注意

・USBでの電源供給が不安定な場合、正しく動作しない場合がありますので、その場合は電池を使用してパソコンへ接続してください。
・本製品は再生専用機でカセットテープへの録音機能はありません。
・テープ本来の音質や性能を発揮することを保証するものではありません。
・カセットテープの破損・データの損失には責任を負いかねますので、ご了承ください。
・本製品はパソコンが必要になります。

保証条件の内容

保証期間は、お買い上げの日から1年間（本体）です。※付属品は除きます。

保証期間内でも以下の場合は有料修理となります。ご確認ください。

●下記の事項

１、誤った使用・不当な修理・改造・分解で生じた故障または損傷。

２、お買い上げ後の落下・故意による破損・輸送等で生じた故障または損傷。

３、火災・天災地変・塩害・異常電圧・指定外電圧使用等での生じた故障または損傷。

４、本書の提示がない場合。

５、本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入がない場合。

６、一般家庭用以外（業務用等）、または異常な連続使用による故障または損傷。

７、使用時に起きた傷・色あせ・汚れ・または保管の不備で起きた損傷。

８、付属品と消耗品の交換。

●本書（保証書）は日本国内において有効です。

※保証期間中でも保証書のご提示が無い場合、有償修理となる場合があります。
※弊社出張修理サービス等は行っておりません。修理・点検ご希望の際はカスタマーサポートへご相談ください。

商品の修理・検査依頼・万が一の初期不良・不具合・商品説明・操作方法・荷物確認などの問題が発生した場合は下記電話番号へ

サポートダイヤル

050-5812-0253

東京都中央区日本橋人形町1-11-2 川商ビル4階

[受付時間]平日 9:00～12:00 13:00～17:00(土・日・祝日は除く)

電話集中している場合は、通話が繋がり難い、繋がらない場合もございます。再度、お時間をおいてお掛け直しくださいますようお願い致します。

製品保証書

【商品名】 カセットキャプチャーレコーダー
【型　番】 EB-XS400

お買上日	年　　月　　日	保証期間	1年間（本体のみ）
お客様ご住所	TEL：		
お客様お名前	様		
販　売　店	印		

お買い上げいただきまして誠に有難うございます。この保証書はお客様の通常のご使用により万一故障した場合には、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

- この保証書をお受取になる時に販売年月日、販売店、取扱者印が記入してあることをご確認下さい。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失されないよう大切に保管ください。

TEL:050-5812-0253

この製品についてのお問い合わせ、修理の
ご依頼は下記にご連絡ください。

商品の修理・検査依頼・万が一の初期不良・不具合・商品説明・
操作方法・荷物確認などの問題が発生した場合は下記電話番号へ

サポートダイヤル

050-5812-0253

東京都中央区日本橋人形町1-11-2 川商ビル4階

[受付時間]平日 9:00～12:00 13:00～17:00(土・日・祝日は除く)

電話集中している場合は、通話が繋がり難い、繋がらない場合もございます。再度、お時間をおいてお掛け直しくださいますようお願い致します。